

令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト  
に関する検討状況について

令和4年11月9日  
独立行政法人大学入試センター

※下線部が令和4年11月9日に更新された部分です。

令和4年度に高等学校に入学した者から、平成30年3月に告示された高等学校学習指導要領（以下「新学習指導要領」という。）により学ぶこととなります。

このことに対応し、大学入学共通テストも、令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト（以下「令和7年度共通テスト」という。）は、新学習指導要領に対応した試験となります。

令和7年度共通テストについての現在の検討状況は以下のとおりです。

1. 出題科目

出題科目については、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告」（令和3年7月30日付け文部科学省高等教育局長通知）において、別添1のとおり示されました。

2. 実施期日・試験時間・経過措置

実施期日、試験時間及び現行の教育課程（平成21年3月告示の高等学校学習指導要領に基づく教育課程）履修者のための経過措置については、「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱の予告（補遺）」（令和3年9月29日付け文部科学省高等教育局長通知）において、別添2のとおり示されました。

3. 出題方法・問題作成方針

令和7年度共通テストの出題教科・科目の出題方法等の予告を別添3のとおり公表しました。また、新学習指導要領を踏まえた各教科・科目の問題作成の方向性について、大学入試センターにおける専門の委員会等で検討し、問題作成方針の方向性及び試作問題等を別添4・5のとおり公表しました。

## ＜教科共通の問題作成方針の検討の方向性のポイント＞

- 従来の方針を基本としつつ、新学習指導要領を踏まえ、趣旨をより明確にする。
  - ・ 新学習指導要領で示している知識の質、思考力・判断力・表現力等を重視するとともに、教科横断的に育成する言語能力、情報活用能力等にも留意する。
  - ・ 各教科の知識・技能や思考力・判断力・表現力等を評価するため、各教科・科目の特質に応じた学習の過程を重視し、問題の構成や場面設定の工夫を重視する。
  - ・ 出題の工夫を一層重視しつつ、多様な受験者が十分に力を発揮できるよう、構成や内容、分量、表現等に配慮する。
- 高校教育や大学教育が変わろうとしていることを踏まえ、共通テストも不断の改善を図る。
- 共通テストは、学習指導要領に基づく学習を重ねていけば対応できる問題を目指すものであり、そのことの周知を含め、広く情報発信を行う。

## ＜各教科に係る公表内容（出題方法、問題作成の方向性、試作問題等）のポイント＞

### 国語

言葉による記録、要約、説明、論述、話し合い等の言語活動を重視し、多様な資質・能力を問うことができるよう、大問を1つ追加。配点は近代以降の文章が3問 110点、古典が2問 90点(古文・漢文各45点)。試験時間(90分)との関係に留意しつつ、それぞれの題材の意義や特質を一層生かした出題となるよう工夫する。

試作問題では、新たな大問の例として、複数の文章や図、グラフを基に、レポートの内容や構成を考える設定の問題を2例紹介。

### 地理歴史、公民

試作問題では、必修科目を組み合わせた出題科目(『地理総合、歴史総合、公共』)と、必修科目を学習した後に履修する選択科目を組み合わせた出題科目(『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』)の構成や内容を紹介。

受験者は、上記出題科目の6科目のうちから最大2科目を選択し、解答する。ただし、2科目を選択する場合、選択不可の組合せがある。

### 数学

数学①②ともに試験時間が70分となる。試作問題では、『数学Ⅰ、数学A』の「データの分析(外れ値、仮説検定の考え方など)」や「場合の数と確率(期待値など)」、『数学Ⅱ、数学B、数学C』の「統計的な推測(仮説検定の方法など)」や「平面上の曲線と複素数平面」など、新たに出題範囲となる内容の問題例と、それを含めた場合の全体の問題構成のイメージを紹介。

## 理科

従来の「理科①」,「理科②」を一つの試験時間帯の中で「理科」として実施する。なお、選択できる科目の数や形式については従来どおりである。旧教育課程履修者等のための経過措置科目は設定しないが、必要に応じて、旧教育課程履修者等が選択可能な選択問題を出題する場合がある。

## 英語

出題形式は「リーディング」形式と「リスニング」形式とし(原則, 両方を受験), 文字と音声の特性を生かして,「聞いた情報を整理して自分の考えを話す」,「自分の考えを書くために必要な情報を読む」といった, 統合的な言語活動で育てた総合的な英語力を測ることを重視。試作問題では, 賛否の意見を書くために複数の資料を読んで主張をまとめ論拠を整理する場面, 書いた英文を校正・再編集する場面(以上リーディング), 講義の概要や要点を確認し考えを述べ合う場面(リスニング)を扱った問題の例を紹介。

## 情報

『情報Ⅰ』の試作問題は, 新学習指導要領が示す内容を基に, 高等学校で育成される資質・能力をバランスよく問う形となるよう作成。経過措置科目の『旧情報(仮)』は, 「社会と情報」及び「情報の科学」の共通問題と, それぞれ固有の内容に対応した選択問題から構成する試作問題を紹介。

令和7年度共通テストの出題教科・科目の出題方法及び問題作成方針については, 令和5年6月(予定)に公表します。

## 4. 得点調整

得点調整の対象教科・科目については, 別添6のとおりとします。また, 『情報Ⅰ』と『旧情報(仮)』については, 別添7のとおり, 受験者数が1万人未満の場合も得点調整の対象とします。

なお, 得点調整の実施方法については, これまでの実施方法が受験者等の間ではおおむね定着していることを踏まえながら, 新学習指導要領に対応した試験においても適切な調整方法となるよう検討しており, 検討状況について令和4年11月16日を目途に公表し, 広く意見を伺う予定です。

## 5. 今後のスケジュールについて

※【 】内は公表主体

|                |   |
|----------------|---|
| 令和4年度中         | ・大学入学共通テスト利用教科・科目の予告【各大学】   |
| 令和5年6月<br>(予定) | ・「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施大綱」の公表【文部科学省】<br>(予告した出題教科・科目等を含む試験の実施方針)<br><br>・「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法及び問題作成方針」の公表【センター】<br>(経過措置を含めた出題方法, 科目選択の方法などの正式決定) |
| 令和6年6月頃        | ・「令和7年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト実施要項」の公表【センター】<br>(出願方法, 時間割など)   |